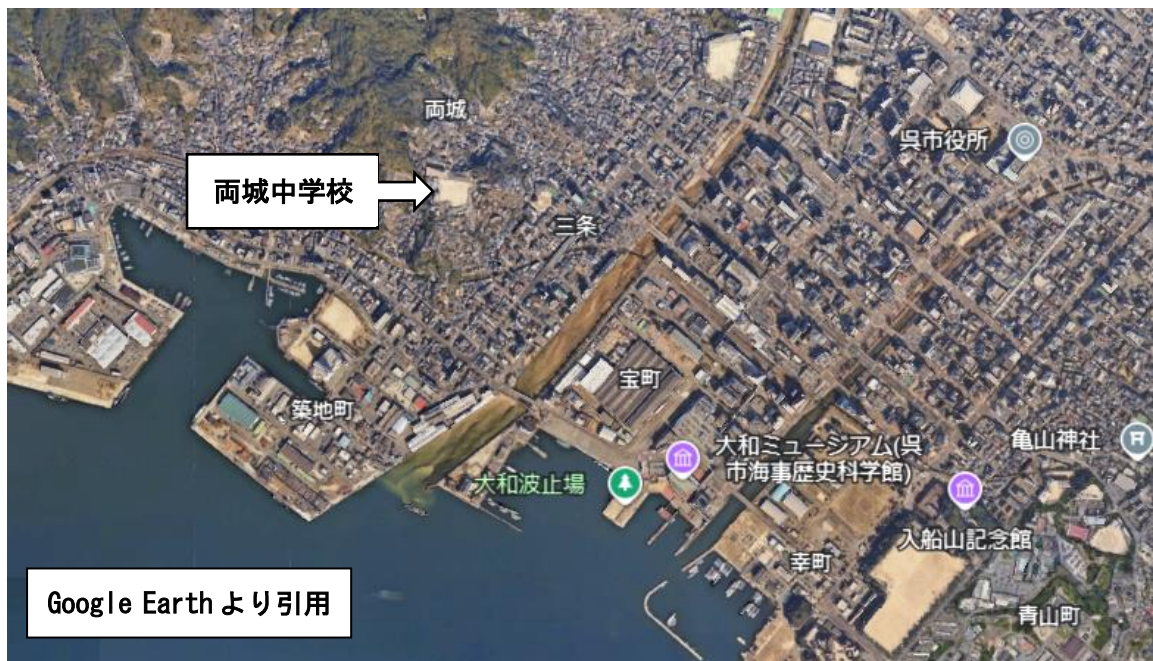


1年生 総合的な学習の時間で学んだこと ダイジェスト版

私たち両城中学校1年生は総合的な学習の時間で、両城中学校区の現状を知り、良い点や課題について話し合い、理想の町の姿について考える学習をしました。私たちが学習した内容をダイジェスト版として紹介します。

両城地区は呉市中心部から西側の海岸近くに位置する地域です。付近には、国道31号やJR呉線が通り、スーパーマーケットやコンビニエンスストアも複数ある利便性の良い地域です。



1887（明治20）年の両城地区の人口は約600人ほどでしたが、1889（明治22）年の呉鎮守府設置以降、人口が急激に増加し、1901（明治34）年には約10倍の6000人余りになりました。

しかし当時、平地のほとんどは海軍が軍用地として使用したため、市民の多くは傾斜地に住むしかありませんでした。そのため、現在でも両城地区には生活道として急な坂や階段が多く見られます。



両城地区の傾斜地に建てられた住宅



両城の 200 階段

私たちの通う両城中学校も「両城の 200 階段」と呼ばれる階段を登りきった高台にあります。毎日、急な坂や階段を歩いて登校するのは大変なのですが、学校から呉湾を一望でき、景色がとてもきれいです。登りきった時の達成感もあります。「両城の 200 階段」は、これまでに映画やドラマのロケ地になったこともあり、その景観を求めて訪れる人も多くいます。



両城中学校から南東方向への景色



両城中学校から南西方向への景色

このような良い点もある一方で、傾斜地が多い両城地区は常に土砂災害の危険と隣り合わせです。また海岸沿いの平地は津波の危険もあります。

そのため私たち１年生は、両城地区の「ハザードマップ」で危険箇所や避難所の位置を調べたり、「マイ・タイムライン」の作成に取り組んだりするなど、『自分の命は自分で守る』意識を高めました。

また自然災害が起きた時、地域の方とお互いに助け合うことができる関係を日頃からつくっておく必要があります。両城地区では、「敬老会」や「みんな食堂」、「地域防災訓練」といった地域の行事に中学生も参加するなど、地域住民が交流する場が多くあります。

こうした地域の行事に積極的に参加することで、これからも両城地区が住み良い町となるよう、私たちも貢献していきたいと思います。

【1年生の声】

両城地区では、地域の方がボランティアで、子どもたちの安全を守るためのパトロールをしてくださっています。感謝の気持ちをもって、あいさつしたいです。

両城地区は坂や階段が多くて大変な面もありますが、体力向上や運動不足にならないという良い面もあります。

両城地区の美しい景観を守っていけるよう、日頃から地域を美しく保つことを意識して生活していきたいと思います。

両城地区には様々な祭りがあり、祭りによって、いろいろな歴史や伝統があるので、それを守り、受け継いでいくことが大切だと思います。地域の祭りは、そこに住む多くの人と仲良くなれる場だと思います。年齢に関わりなく、みんなで作り上げていくお祭りが好きです。

両城地区のハザードマップで自宅近くの避難所を確認し、実際に災害が起きた時にどんな行動を取れば良いかを「マイ・タイムライン」としてまとめました。家族でも話し合っておきたいです。